

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-161	A-153	21-025
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之		
<b>題名 (原題/訳)</b> Association between post-traumatic stress disorder and alcohol-related hospitalizations among World Trade Center Health Registry enrollees 世界貿易センタービル健康レジストリ登録者における心的外傷後ストレス障害とアルコール関連入院の関連		
<b>執筆者</b> Takemoto E, Giesinger I, Russell JS, Li J.		
<b>掲載誌</b> Drug Alcohol Depend. 2021 Apr 1;221:108656. doi: 10.1016/j.drugalcdep.2021.108656.		
キーワード	PMID	
アルコール、災害疫学、入院、心的外傷後ストレス障害	33689968	
<b>要 旨</b> <p><b>目的：</b>世界貿易センタービル(WTC)災害の被災者において、9.11 関連曝露と心的外傷後ストレス障害 (PTSD) の反復評価の両者がアルコール関連入院 (ARH) のリスクに及ぼす影響を検討した。</p> <p><b>方法：</b>WTC 健康レジストリの登録者 53,174 名を対象に、ベースラインで 9.11 関連曝露 (外傷性イベントの目撃, 身体的損傷, またはその両方) を測定し, 4 時点 (2003~2016 年) で PTSD Checklist-17 を用いて PTSD 症状の評価を実施した。ICD-9-CM および ICD-10-CM コードを用いて、リンクされた行政データ (SPARCS:NY 州における患者情報データベース) により ARH (2003~2016 年) を特定した。9.11 関連曝露の ARH への影響については、Cox 比例ハザード回帰によりハザード比 (HR) および 95%信頼区間 (CI) を推定し、PTSD の ARH への影響については、PTSD を時間依存性の共変量として、拡張 Cox 比例ハザード回帰を使用した。モデルは、事前に交絡因子について調整し、登録者グループを 3 つのグループにより層別した (制服組 (ニューヨーク州の警察官や消防隊員、衛生機関員など) の救助と援助員 (RRW)、非制服組の RRW、地域住民)。ベースラインまたは 2001 年 9 月 12 日から、ARH、離脱、死亡、またはフォローアップ終了 (2016 年 12 月 31 日) のうち最も早い時点までの観察人年を算出した。</p> <p><b>結果：</b>9.11 関連曝露すべてにおいて、地域住民と非制服組の RRW では ARH のリスクが高かったが、制服組の RRW ではそうでなかった。調整モデルでは、PTSD は、すべてのグループで入院リスクの増加と関連していた (制服組の RRWs: HR=2.6, (95%CI:1.9, 3.6); 非制服組の RRWs: HR= 2.1, (95%CI:1.7, 2.7); および地域住民:HR=2.6, (95%CI:2.1, 3.2)] .</p> <p><b>結論：</b>特定のグループでは、9.11 関連曝露は ARH のリスク上昇と関連しており、すべてのグループで PTSD が ARH と強く関連していることが示された。この知見は、スクリーニングと治療を改善する上で、臨床の場に役立つと考えられる。</p>		